



各地の森林から

季節毎にお送りする「各地の森林から」。今回は各地で様々な試行錯誤を繰り返し、多様な森林の造成を行ってきた国有林の中であって、技術開発の歴史の中から生まれた、各地の特徴的な森林づくりをご紹介します。



湿原部分に生息するタンチョウ



森林造成のためのササ処理の様子(昭和35年)



パイロットフォレストの紅葉

「パイロットフォレスト」

パイロットフォレストは、北海道の東部、霧多布湿原と釧路湿原の間に位置する別寒辺牛湿原の周辺に広がるカラマツ人工林を主体とする、約1万ヘクタールの森林です。

この場所は、開拓の火入れによる失火等のため、毎年のように発生した山火事により森林が消滅し、かつては「死の荒野」とまで呼ばれた広大な原野でした。

このような中、昭和30～40年代に、この地に森林を蘇らせるための大規模な森林造成が開始されました。湿原周辺での植林作業は、湿原に車を通すための浮橋の設置や広大な原野に繁茂するササの処理など、困難を極めました。

このような苦勞の末、約60年を経過した現在、パイロットフォレストは年間約1万㎡以上の木材を生産するまでに資源として充実し、湿原部分はタンチョウが生息するなど、野生生物の生息環境としても役割を果たしています。

「ヒバ林の復元」

青森ヒバの天然林は日本三大美林の一つに数えられ、かつては津軽半島及び下北半島に豊富に生育していました。ヒバは写真のように巨木に生育し、ヒバ材は古くから神社仏閣や住宅などに利用されてきました。しかしながら、ヒバは生長が遅く、木材として利用できるまで100～200年を要するため、ヒバ林の伐採後には、成長の早いスギやカラマツなどが植栽されたことから、現在、ヒバの資源量は十分とは言えません。

そこで、東北森林管理局では、平成27年度から津軽半島及び下北半島においてヒバ林を復元する取組を行っています。

平成29年度には、ヒバ林の周辺に植栽されたスギ等の人工林のうち、天然更新したヒバの稚樹が旺盛に生育している箇所を含む9箇所29haの区域で、実際にスギ等の伐採を行い、人工林をヒバ林へ誘導するための手法の検証を行っています。将来的には、津軽半島及び下北半島に設定した15万haの「ヒバ林復元推進エリア」において青森ヒバ林を復元することを目指しています。

※伏条更新とは、地面に接した枝から根が出て稚樹が発生すること。



ヒバの実生



ヒバ天然林の林内の様子



ヒバの伏条更新



ヒバ林の復元を行っている人工林



コウヤマキ人工林の林内の様子

「コウヤマキ人工林」

広島市中心部から西へ約40km、広島市佐伯区えげだにやまの恵下谷山国有林ではコウヤマキの人工林が見られます。

恵下谷山国有林はスギ、ヒノキを主体とした人工林であり、かつては製品事業所を置くなど広島森林管理署における木材生産の重要拠点の一つでした。

このような地域で、高品質材生産のために明治31年に植栽されたコウヤマキ林が約120年経った今もお現存しており、全国的にも珍しいコウヤマキの純林を見ることができます。

このコウヤマキ林は植栽から人手が加わっておらず、コウヤマキのほかにヒノキ、スギやユズリハ、サカキ、ヤブツバキ等の常緑広葉樹等が生育しています。

地域では希少な学術的価値を有するコウヤマキを保護するため平成2年4月にこのコウヤマキ林を保護林に設定し、保護・管理に努めています。



コウヤマキの実生



コウヤマキ人工林(写真最奥(頂上部)がコウヤマキ)

「林分密度試験林 (ミステリーサークル)」

おび 飫肥スギで有名な宮崎県南那珂みなみなか地域においては、造船用材として弁甲材という独特の木材を、苗木を疎に植林する施業により生産してきましたが、弁甲材の需要減少により、一般建築用材の需要に対応するため弁甲材生産よりも密に植林する一般材生産へと移行してきました。

このような中、昭和48年度に設定されたのが、この「林分密度試験林」です。

この試験地の森林では、疎植から密植への転換を行うため、植栽密度の違いによる成長過程や材質の変化などを実証し、飫肥スギの効率的な施業体系を確立することを目的として、半径の異なる10個の同心円上の、円の中心から10°の放射線との交点に36本のスギを植栽し、ha当たりの密度が377本から10,027本となるように設定されています。

このため、この森林を上空から見ると、同心円状に樹幹が広がって「ミステリーサークル」の様に見える話題になっています。

※上空からの画像は Google earth の検索ボックスに下記の位置情報を入れて頂くとご覧になれます。

31° 43' 50" N 131° 23' 05" E



試験地林内の様子



林分密度試験林の状況(上空からドローン撮影)



林内から見た試験地の中心